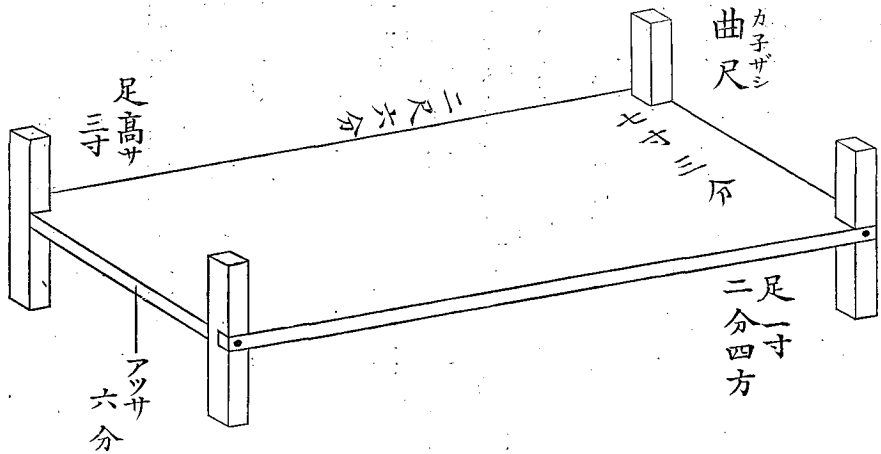


〔骨董集 上編 中〕魚板の古製



文明時代の酒食論といふ畫卷、又寛永時代の繪に、此魚板見えたり、これ式正のものにはあらざるべけれども、魚板の一種の古制を見るべし、今も京師の舊家にはまれにあるよし、好事の人文臺などにして、もたるもありとぞ、又甲州の民家には、今もこれを用るよし、表にて魚類を切裏にて菜類を切る、便利よきものとぞ聞ける。

〔空穂物語 吹上之下〕おのこどもあつまりて、まないたたて、魚鳥つくる、かねのさらに北方の御れうとてもある。